

## 第 31 回 茅野市・原村地域公共交通活性化協議会 議事録

[日時] 令和元年 6 月 21 日(金) 10:00～11:00

[場所] 茅野市役所 8 階大ホール

[議事]

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 交代委員等紹介
4. 案件
  - (1)長野県生活交通確保維持改善計画に「本線（岡谷・茅野線）」を位置づけることについて
  - (2)平成 30 年度協議会事業報告及び決算認定について
  - (3)令和元年 10 月からのバスダイヤ変更等について
  - (4)茅野市・原村生活交通確保維持改善計画について
  - (5)その他
5. 報告
  - (1)平成 30 年度バス運行の状況等について
6. その他
7. 閉会

[出席者] 1. 委員 34 名、庁内委員・事務局 21 人、傍聴者 1 名、別紙のとおり

**[1. 開会]** 【地域戦略課長】

**[2. あいさつ]** 【会長 茅野市長】

**[3. 交代委員等紹介]** 【地域戦略課長】

**[4. 案件]**

- (1) 長野県生活交通確保維持改善計画に「本線（岡谷・茅野線）」を位置づけることについて  
—— 資料 1 説明 —— 【事務局】

**【岡谷市住民】**

岡谷市では持続可能な公共交通の構築を目指した岡谷市地域公共交通総合連携計画に基づいた 3 年間のシルキーバス実証運行を経て、平成 26 年 10 月より本格運行に移行しております。

その際、岡谷・茅野線は、地域間を移動する足として重要な路線であることから、この地域間幹線への乗り継ぎなどにも配慮し、利用者の利便性の向上に努めています。

現行制度において市町村が公共交通を維持していくためには、この地域間幹線である岡谷・茅野線を存続させることが持続可能な公共交通の構築の大前提となります。

一人でも多くの方に利用していただけるよう取り組みを引き続き行っていただけるように考えてまいりますので、継続的な運航を是非ともお願いをいたします。

### 【諏訪市住民】

本線は、地域間幹線バス路線として住民に認知されており、諏訪地域を縦断するバスとして通勤・通学のほか買い物や通院に利用され、日常生活に不可欠な移動手段として利用されています。

また、駅、病院など、生活に必要な施設を経由していることから、地域住民として生活を維持していくために本線を存続していただくよう要望いたします。

また、個人的な見解ですが、高齢化による認知機能、運転機能の低下など、これまで交通弱者であったものが加害者になってしまうという事案が増えてきておりますので、安心して安全に生活できる公共交通機関にしていっていただければありがたいと思うとともに、存続、拡充をお願いしたいと思います。

### 【下諏訪町住民】

下諏訪町でも、地域住民の移動手段を確保するため、あざみ号を循環バスとして運行しております。このバスについては、地域のみなさんの通勤・通学、買い物、通院と多くの方に利用していただいておりますが、町内には拠点病院がなく、大規模店舗も存在しません。

そのため、近隣の市へ足を延ばしていますが、その際の交通手段として岡谷・茅野線を利用しているので日々お世話になっているという声も多く聞かれます。

下諏訪町は高齢化率が高く、自動車に乗らない年配も多く、町外の病院や商業施設を利用する際の住民の足になっていただいていると思っています。

このため、下諏訪町としても、ぜひ、この岡谷・茅野線を存続、拡充をお願いしたいと思います。

### 【茅野市住民】

茅野市では平成 28 年 10 月より新たなバス交通の運行を開始し、持続可能なバス交通体系の再構築を目指しているところであります。

岡谷・下諏訪・諏訪・茅野を結ぶ岡谷・茅野線は諏訪地域を横断する大きな役割を担っていると考えております。茅野市のバス交通のほとんどは、茅野駅を発着することから沿線の住民だけでなく、支線の乗り継ぎについても最重要な路線であると考えています。

高齢化社会を迎える中で、生活の足の確保や地域間の交流をさらに進めるためにも、岡谷・茅野線の運航を継続することは非常に有益であると考えております

今後も運行が継続されるようお願いしたいと思います。

### 【会長】

ご意見・ご質問はありますか。

ご意見は無いようですので、それでは、岡谷・茅野線を長野県の生活交通確保維持改善計画に位置付けるということでもよろしいでしょうか。よろしければ拍手をもって、ご承認をいただきたいと思ひます。

(拍手)

ありがとうございました。それでは、岡谷・茅野線はこの計画に位置付けることとなりますのでよろしくお願ひいたします。

(2) 平成 30 年度協議会事業報告及び決算認定について

—— 資料 2 説明 —— 【事務局】

【会長】

ご意見・ご質問はありますか。

ご意見は無いようですので、よろしければ拍手をもって承認をお願いいたします。

(拍手)

ありがとうございました。

(3) 令和元年 10 月からのバスダイヤ変更について

—— 資料 3 説明 —— 【事務局】

【会長】

ご意見・ご質問はありますか。

ご意見は無いようですので、よろしければ拍手をもって承認をお願いいたします。

(拍手)

ありがとうございました。

(4) 茅野市・原村生活交通確保維持改善計画について

—— 資料 4 説明 —— 【事務局】

【会長】

ご意見・ご質問はありますか。

ご意見は無いようですので、よろしければ拍手をもって承認をお願いいたします。

(拍手)

ありがとうございました。

**[5. 報告]**

(1) 平成 30 年度バス運行の状況等について

—— 資料 5 説明 —— 【事務局】

【会長】

ご意見・ご質問はありますか。

【委員】

御狩野線通学支援便についてですが、分析の中で帰宅便が利用少ないということですが、朝と夕実数としてはどのような状況となっているのでしょうか。

【事務局】

利用状況としては朝の利用者に比べ、夕方は 75%の利用状況ということで、1/4 の生徒が夕方は

乗っていただけていない状況となっております。

## **[6. その他]**

事務局より、ラッピングを施した車両の導入を進めている状況を説明。

### **【事務局】**

せっかくの機会ですので、交通事業者の方に現状や課題などについて、一言ずつお願いしたいと思います。

### **【委員】**

日頃より大変お世話になっております。

本日も協議いただいた岡谷・茅野線、北八ヶ岳ロープウェイ線なども弊社で運行しておりますが、いずれの路線も収支は厳しい状況であり、業界全体においてドライバー不足が問題となっておりますが、本日の承認いただいた北八ヶ岳ロープウェイ線の回送を実車運行に変えるなど、利用者の利便性を高めるような取り組みに努めていきたいと考えております。

### **【委員】**

日頃より大変お世話になっております。

当社は、5路線運行させていただいておりますが利用者数は変化なし、もしくは増加という傾向です。

特に、原村循環線は小中学生が増加しており、昨年度は連行便を付け運行していた状況です。

今後も、ご利用いただけるように柔軟にダイヤなど対応させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

### **【委員】**

日頃より大変お世話になっております。

当社は、5路線運行させていただいております。

平成 22 年より路線バスの運行に参入し現在に至っているわけですが、当初、穴山・原村線については込み合う状況もありましたが現在は少なくなってきました。

ただ、丸山線、デマンド交通については非常に満足度も高く、かなり利用者も増加してきているとみています。

また、6月に100円乗車キャンペーンを行っていますが、デマンド交通では目標値を大きく上回る状況となっており、この機会に認知度が高まり、新たな方に利用していただければと思います。

## **[7. 閉会]**

### **【副会長】**